



松山市議会議員 吉富健一の政務活動報告 よしとみマン通信

第21号

2020年 8月

発行 吉富健一

表面
中面
裏面

ひとり 10 万円の特別定額給付金の支給

コロナ禍の一般質問

だれもがくらしやすいまち ～避難行動要支援者が安全に避難するために～

ひとり 10万円

特別定額給付金の支給



緊急事態宣言の下、外出を自粛し行動が制限される中、収入が減少したり、生活上の様々な不都合が生じたり、多くの国民・市民が生活上の困難と不安を抱えました。コロナ禍という災難を乗り越えるためには、人々の理解と協力、連帯と団結が欠かせません。そうした中、窮乏する国民生活を速やかに支援し、また、分断ではなく団結を生み出すために、国民ひとり 10 万円の特別定額給付金が令和 2 年 4 月 20 日に閣議決定されました。

この給付金の予算は国が付けますが、事業の実施主体は市町村です。

そこで松山市議会公明党議員団としても、一日でも早く市民の手元に給付金が届くよう、松山市に対して強く要望。4 月 30 日には特別定額給付金給付事業約 516 億円を計上した松山市一般会計補正予算が専決処分。5 月 18 日から世帯主宛てに申請書を送り始め、5 月 22 日には口座振込が始まりました。6 月 9 日時点で 8 割以上の世帯に給付を終え、6 月末には対象世帯の 95% 以上に給付が完了しています。



今回の給付金は原則世帯ごとの申請ですが、やむを得ず世帯から離れて生活する方など現実の市民生活は様々です。該当するすべての市民に間違いなく給付金が届くよう、公明党議員団としても市に十分な配慮を求めています。



また、これからお子さんが誕生するご家庭からは「基準日より後に生まれる子は 10 万円が支給されず、不公平を感じる」との声もありました。こうした不公平感を是正するために、例えば来年 4 月 1 日までに生まれた「同学年」の新生児には 10 万円を給付するなど、他自治体では独自の取り組みが進んでいます。よしとみも松山市議会 6 月定例会の一般質問や委員会審査を通じ、基準日の翌日以降の誕生で給付対象にならない市民のために、市独自の給付や支援の実施を提案しています。

だれもがくらしやすいまち

～避難行動要支援者が安全に避難するために～

九州を中心に全国各地で甚大な被害を及ぼした令和2年7月豪雨。

このたびの豪雨災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。



松山市でも大雨(土砂災害・浸水害)警報や洪水警報が発表されるとともに、所によっては警戒レベル4の避難指示(緊急)が発令され、土砂崩れにより家屋が倒壊したり市道が通行止めになったりしました。

そうした中、豪雨災害時の避難についてご要望があり、7月12日、山本博司参議院議員と木村誉県議会議員に同行して株式会社パーソナルアシスタント青空を訪問。青空さんでは放課後等デイサービスなど障がい児・者の福祉サービスを提供しています。



面談では、大雨による災害に備えて利用者が事前に避難するときの問題点や、放課後等デイサービスの職員配置基準についての疑問など、現場で感じている様々な課題などについてご意見・ご要望をいただきました。

国や県とも連携し、課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。

後記 新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の災難にあって、世界も、また日本も、まだまだ先の見通せない不安な状況にあります。本市においてもそれは例外ではなく、今日までに63の方が感染をし、未知のウイルスと戦われています。(令和2年7月21日現在)

このたびのコロナ禍において、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方・ご家族の皆様には心からお見舞いを申し上げます。また、こうした世情においても、市民の命と暮らしを守るために働き続けてくださっている皆様に、改めて、感謝を申し上げたいと思っております。

一方で、感染拡大防止のために外出の自粛や抑制などが求められる中、経済が低迷し、苦境に立つ経営者の声、雇用や待遇が悪化した労働者の皆様の声も多く聴かれます。

コロナ禍にあって、議員は、また、議会は何ができるのか。常に問い続けたいと思っております。皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

吉富健一
連絡先

吉富健一
HP & ブログ

よしとみマン日記

<https://www.komei.or.jp/km/matsuyama-yoshitomi-kenichi/>



ひとことメッセージ 

今回の「よしとみマン通信」は私がお届けしました。

吉富健一(本人) 協力者()

暑さの厳しい折、どうぞご自愛ください。

